



広報さつま 4

2010

人々が織りなす 元気で快適な 活力あるまち

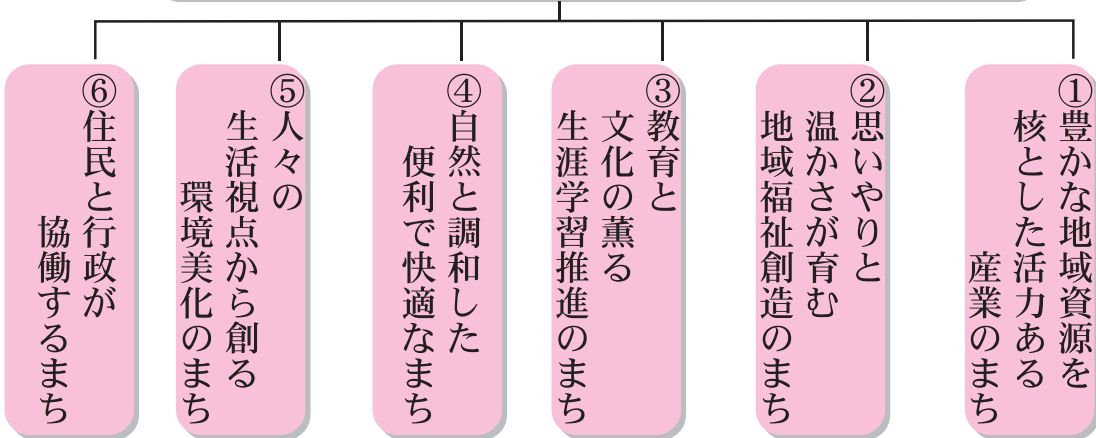


春風に誘われて・・・

前川リバーサイドウォーキングin鶴田

重点政策の4本柱

- ① 元気な農林業・商工業のまち宣言
- ② 子どもすこやか育成宣言
- ③ 大胆改革さつま宣言
- ④ 安心安全さつま宣言



重点政策を実現するための6つの推進方策

具体的な計画（一部を抜粋）

第三期対策中山間地域直接支払制度の推進
耕作放棄地対策協議会と連携した農地の保全
米戸別所得補償モデル事業と水田利用自給力向上・緑茶普及対策
JA北さつまと連携したトップセールス事業・畜産振興大会等肉用牛振興
県営中山間地域総合整備事業（ほ場整備事業）
担い手の確保と集落営農の推進・有害鳥獣対策
民有林の積極的な整備・伐竹材の活用・畜生産の取り組み
プレミアム付き商品券の発行・小売業等店舗整備助成創設・制度融資利子補給
交流人口200万人をめざしたコンベンションタウンの推進・九州新幹線開通対策
グリーン・ツーリズムの円滑な推進・町木「もみじ」を素材とした観光名所づくり
企業ニーズにあった誘致対策・定住促進対策・緊急雇用対策
かごしま遊楽館（東京都）への職員派遣によるアンテナショップ等
「健康さつま21」に基づく「健康づくり推進の町」宣言
人間ドック助成（子宮がん、乳がん検診の無料化）・がんドック創設（国保）
「さつま町児童生徒入院医療費助成制度」の創設
高齢者の社会参加促進の取り組み（シルバー人材センター、高齢者クラブ、ふれあいサロン）
地域ぐるみによる福祉ネットワークづくり（在宅福祉アドバイザー、福祉無線通報システム）
子どもたちが健やかに成長できる環境整備
（子ども手当、子育て支援手当、保育料軽減、療育施設の研究検討）
「町人権教育推進計画」を基本に人権意識の高揚を図る
生涯学習の推進・次世代を担う青少年の育成（「さつまの日」の定着化）
「ブックスタート事業」の実施・「たくましく志の高い児童生徒」の育成（学校活性化推進事業等）
学校規模適正化の具体的な方策等を検討・食育の推進・学校給食の「地産地消」の推進
郷土にある伝統文化の継承・永野金山歴史調査・水天向遺跡調査
北薩横断道路の早期全線開通と「薩摩道路」・「泊野道路」間の調査区間早期格上げ要請
河川激特事業工事の促進・計画的な道路整備と維持管理
「さつま町安全安心会議」の充実・防災行政無線総合卓への更新
消防災害支援隊の活動支援・高規格救急車更新・分団車庫、防火水槽等の整備
環境基本条例の制定に向けた取り組み・単独浄化槽から合併浄化槽切り替えへの単独浄化槽撤去費一部助成
「さつま町景観計画」実現に向けた取り組み
5周年記念式典の実施（ラジオ体操公開番組・式典・郷土芸能祭ほか）
公民館単位の「地域づくり活性化計画」の策定・地域交通対策の研究
町総合振興計画の後期計画策定・過疎計画見直し



日高政勝 町長

平成22年3月定例議会 施政方針の概要

平成22年3月定例議会で日高町長は、「平成22年度施政方針」を説明しました。今回はその一部を抜粋しお知らせいたします。なお、全文は本町ホームページにて紹介しています。

本年度は合併5年目という節目の記念すべき年を迎えます。それと同時に、私も就任2年目を迎え、初めての当初予算編成ということもあり、マニフェストの4本柱の戦略宣言の一層の推進を図って、「町民が夢と希望の持てる元気なまち」をめざした予算編成に努めてまいりました。

ご承知のとおり私の就任後に、歴史的な政権交代があり、また、一昨年

代があり、また、一昨年から続く世界的な金融不況、雇用不安、円高、デフレなど、まさしく「変革」の時代です。経済情勢もまだまだ先行き不透明な状況下にあります。

このような中で、国の景気対策や緊急雇用対策などを積極的に取り入れながら、当初予算と連動し本町の経済活性化や住民福祉向上に間断なく取り組みでまいる所存であります。

国の予算においては、鳩山政権が掲げる「コンパクトから人へ」の方針を反映し、公共事業関係費が減となる一方、社会保障関係費や文教関係費が増額となり過去最大の予算規模となっております。

歳入面では、税収が大きく落ち込み、財源不足を補うため特別会計の剰余金や積立金の活用、新規国債の発行などを余儀なくされております。

本町におきましては、行財政改革を更に推進し無駄を排除しながら財政の健全化ということを基本において「第2次行政改革大綱」を、町民目線に立って策定し、改革をなお一層進めてまいる所存であります。

本年度は総合振興計画の後期計画、新たな過疎法制定に基づく計画策定などがあり、本町がもてる豊かな人材、地域資源

等のポテンシャルをうまく引き出し、また、これまでの成果を検証しながら、さつまとの底力を発揮できるようにしてまいります。

更に、未来に飛躍・発展していくまちづくりを創造するため、大所高所から、また、専門的な立場からの政策提言等の意見を聴くシンクタンク組織を設置してまいります。

目次

- 02 平成22年度町長施政方針
- 04 平成22年度当初予算
- 06 まちのニュース
- 10 戸別所得補償モデル事業
- 12 ふるさと元気座談会③
- 13 川内川激特 鶴田ダム再開発速報
- 14 暮らしの情報
- 17 シリーズ がんばれ認定農業者
- 18 ひと仕事（さつまに生きる）
- 19 誕生・おくやみ 1歳で～す こんには保健師です
- 20 人・夢 休日在宅医・薬局



前川リバーサイドウォーキング in 鶴田

■表紙の写真説明

3月14日、鶴田区内の前川と史跡、岩ツツジを巡る約6kmのコースで行われ、約100人が参加しました。昨年11月に前川沿いに植栽された「すいせん」も開花し、春の陽光に心地よい汗を流しました。

*ポテンシャル可能性としてもっている能力。潜在的な力。
*シンクタンクはさまざまな領域の専門家を集めて、社会開発や政策決定などの複合的な問題や未来の課題を研究する機関。

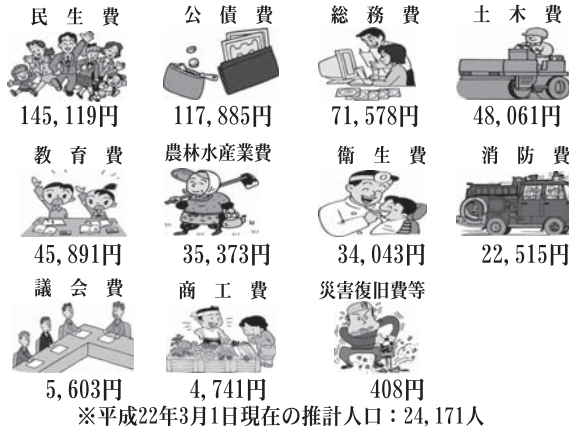
「町民が夢と希望を持てる元気なまち」を目指して

平成22年度予算

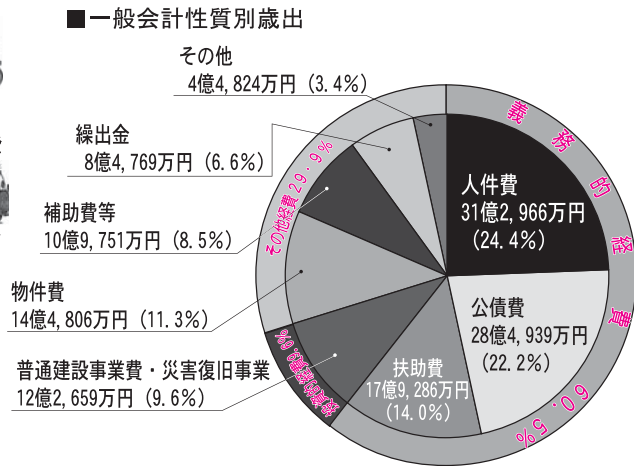
ひとにやさしい
平成22年度一般会計当初予算 **128億4,000万円**

平成22年度の予算が3月議会で決まりました。予算額は、128億4,000万円で、昨年度よりも7,500万円、0.6%の増額となりました。財政の健全化をめざし、人件費、公債費の縮減に努め、約2億5千万円の削減効果ができましたが、民主党マニフェストの子ども手当、約3兆円の影響を受け、若干の伸びとなっています。このような状況の中、本町においては福祉・医療関係経費の増大や本格的に進められる災害復興への取り組みなど緊急性の高い事務事業を継続する中で、町長の掲げる重点政策に基づき、限られた予算で特色ある施策を推進するための各種事務事業を中心に予算編成が行われました。

■町民一人あたりに使う予算は 53万1,217円



【歳出】 合計 128億4,000万円



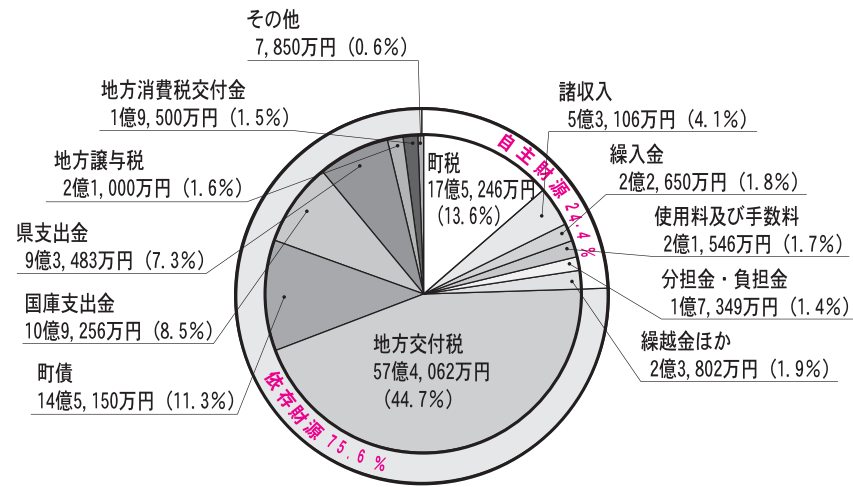
■平成22年度歳出の主な事業

- 議会費 1億3,542万円 (前年度比 364万円の減)
- 所管事務調査旅費 (先進地調査)
- 総務費 17億3,012万円 (前年度比 888万円の減)
- コミュニティバス対策
- 公民会無線放送施設整備事業
- 地域活動支援事業
- 新町5周年記念関係事業
- 交通安全施設工事
- 民生費 35億768万円 (前年度比 4億1,021万円の増)
- 子ども手当 (13,000円/月)
- 知的障害者福祉サービス
- 児童手当
- 社会福祉協議会運営補助
- シルバー人材センター運営補助
- 障害児保育対策事業
- 衛生費 8億2,286万円 (前年度比 113万円の減)
- 乳幼児医療助成事業
- 女性特有がん検診推進事業
- 地域自殺対策緊急強化事業 (自殺抑制啓発経費)
- 農林水産業費 8億5,500万円 (前年度比 1,066万円の減)
- 林道開設事業
- 中山間地域総合整備事業 (ほ場整備・農道整備)
- 農山漁村活性化プロジェクト支援事業
- 肉用牛振興事業費
- 特産振興対策事業
- 有害鳥獣防除事業
- 商工費 1億1,460万円 (前年度比 1,910万円の増)
- 特定中小企業緊急保証制度利子助成
- 小売業等店舗改装支援事業
- プレミアム付商品券発行事業
- もみじ苗購入
- 土木費 11億6,168万円 (前年度比 2億426万円の減)
- 道整備交付金事業 (道路整備)
- 過疎対策道路整備事業
- 地域活力基盤創造交付金事業
- 道路維持費 (道路作業員補充)
- 県単急傾斜地崩壊対策事業

- 消防費 5億4,420万円 (前年度比 4,719万円の増)
- 防災無線費 (防災行政無線統合卓整備)
- 救急業務費 (高規格救急車購入等)
- 非常備消防費 (防火水槽設置)
- 消防団費 (操法大会関係費用弁償)
- 教育費 11億920万円 (前年度比 4,768万円の減)
- B&G海洋センター屋根改修
- 宮之城中学校移転経費
- 自治活動推進事業費
- 特別教育支援員配置事業
- 公債費 28億4,939万円 (前年度費 1億2,526万円の減)
- 平成22年度償還予定の元金及び利子、一時借入金利子
- 災害復旧事業費 487万円 (前年度同額)
- 農地・農業用施設災害復旧費、道路橋梁河川災害復旧費
- 予備費 500万円 (前年度同額)

【歳入】 合計 128億4,000万円

■一般会計項目別歳入



■特別会計等の予算規模

国民健康保険事業特別会計	31億6,832万円
老人保健医療特別会計	547万円
後期高齢者医療特別会計	3億423万円
介護保険事業特別会計	27億3,423万円
介護サービス事業特別会計	2,479万円
農業集落排水事業特別会計	4,350万円
水道事業会計 (支出総額)	1億8,705万円
簡易水道事業会計 (支出総額)	3億5,880万円

●歳出(使うお金)
歳出の費目ごとの割合は、民生費(社会福祉費関係)27.3%、公債費(借入金の返済金)22.2%、総務費13.5%、土木費9%、教育費8.6%などの順で予算に占める割合が高くなっています。特に、民生費については子ども手当の創設により前年度より3ポイント高くなっています。今後、国庫の補助事業の採択や確定に伴う追加事業、自然的要因に左右される災害復旧事業などの補正が見込まれます。

■公債費(借金の返済金)
平成20年度末における借入金の残高は、192億9,291万円となり前年度より13億7,139万円減少しましたが、年間予算額を超える大きな金額になっています。これに対する年間の元利金返済額は28億4,528万円となりますが、このうち50%程度は国から交付税として助成されます。

●歳入(入るお金)
景気低迷の影響を受け町税では町民税や固定資産税の減額が見込まれるものの、国から交付される地方交付税や子ども手当の創設等による国庫支出金、県支出金の増額が見込まれ、昨年度並みの歳入が見込まれます。

■自主財源と依存財源
自分の町で賄っている収入(自主財源主に町税)は、31億3,699万円で、全体の24.4%(前年度比8.6%減)に、逆に国庫支出金などに依存している財源は、97億301万円で75.6%(前年度比4.7%増)となっており、国庫の施策の動向に左右されやすい状況にあります。景気低迷により町税等の減収から自主財源比率は3ポイント減となり、引き続き貯金(財政調整基金)の一部取り崩ししながらの厳しい状況が続くと思われま

■町債(借入金)
建設事業の財源や歳入の不足を補うため借り入れる町債は、14億5,150万円となっており、前年度の当初予算と比較しますと、130万円の減とほぼ昨年並みとなっています。これは、国税等の減収の影響で地方交付税の原資に大幅な不足が見込まれ、こうした交付税の減収分を補うために、町が発行する赤字地方債(臨時財政対策債)も大きく伸びたことなどが影響しています。

なお、臨時財政対策債は、後年度の地方交付税において、元利償還金の100%を国から補てんされます。

■貯金(基金繰入)
歳入の不足を補うために繰り入れる基金は、2億2,650万円となっています。前年度の当初予算よりも、2億1,080万円の減となっています。平成22年度末の基金残高の見込は29億6,001万円(一般会計分)となっています。

本物の舞台芸術に触れる！ 文化庁主催、オーケストラ公演

2月23日、24日の両日、柏原小学校と山崎小学校において、神奈川フィルハーモニー管弦楽団が両校を訪れ、オーケストラ公演が行われました。これは、文化庁主催の「本物の舞台芸術体験事業」として行われたもので、本町では2校が対象となりました。



▶オーケストラと一緒に演奏（山崎小）



オーケストラをバックに合唱（柏原小）

出場し、多くの人々に感動を与えています。当日は、演奏や楽器の紹介をはじめ、子どもたちと一緒に曲を演奏したり、両校の子どもたちがそれぞれ作詞作曲した曲を楽団の皆さんが演奏してくださいました。

地域に学ぶ、農に学ぶ！ 鶴田中学校「農業体験学習」

3月2日と3日の両日、鶴田中学校2年生51人が校区内の農家で農業体験を行いました。

これは、農業体験を通して働くことの意義や農業によって生産される食物の大切さや郷土の農業の実態を体験するために行われたものです。

51人はそれぞれ、ごぼう・花・いちご・野菜・果樹など10戸の農家に分かれ、額に汗しながら作業を行いました。

◀ごぼうの掘り取り作業を行う生徒



いちごハウスで作業を行う生徒

作業をしてもらって、きれいな仕事を体験することがないので良い機会だと思えます。」と感想を話されました。



末吉さん(左から3人目)鎌田さん(左から5人目)諏訪さん(右から2人目)

立派な自衛官を目指して 町自衛隊入隊者壮行会

3月5日、町と町自衛隊父兄会主催による「平成22年自衛隊入隊者壮行会」が役場で行われました。壮行会では、入隊者を代表して、末吉範行さんが「さつま町を代表するという気持ちをもって、立派な自衛官になれるよう頑張ります」とお礼を述べました。平成22年の本町からの入隊者は3人で次の方々です。
★陸上自衛隊(敬称略)
【普通科】(香川県) 第110新隊員教育隊 末吉 範行(甲陵高校卒・轟原)
【えびの 第24普通科連隊えびの教育隊】
鎌田 直樹(川薩清修館高校卒・東善寺)
諏訪 佑太(城西高校卒・東町)

満開の花にうっとり 梅の花咲く薩摩ツアー

2月16日、さつま町観光協会主催の「第8回梅の花咲く薩摩ツアー」が開催され、300人近くの申し込みの中から抽選で選ばれた87人が鹿児島中央駅発着のバスツアーを楽しめました。

参加者は満開の梅園を見学のと、梅の栽培方法や梅干しの加工方法について生産者の説明に熱心に耳を傾けました。また、昼食時には、そばや煮しめなどの郷土料理を味わい、ガラス工芸館や特産品直売所で買物をされました。



生産者の説明に聞き入る参加者

林業功労者県知事表彰 大長筍生産振興会

2月3日、鹿児島市の県民交流センターで平成21年度鹿児島県林業功労者大会が開催され、久富木地区の大長筍生産振興会(会長 三浦良行、会員数22人)が森林・林業功労者団体の部で県知事表彰を受けました。また、2月10日に行われた、川薩地域早掘りタケノコ品評会で同振興会の濱田典昭さんが最優秀賞に輝きました。



受賞を喜ぶ大長筍生産振興会の皆さん

大長筍生産振興会は、昭和36年に県内でいち早く振興会組織を設立され、竹林管理等の勉強会や現地研修会、先進地視察を積極的に進め、会員一同協力して、地域のたけのこの生産振興に大きく貢献されています。



今年も登場した「人間田の神さま」

結いの郷をPR さつま永野ウォーキング大会

2月14日、「第5回さつま永野ウォーキング大会」が開催され、8kmと6kmのコースに約600人が参加しました。

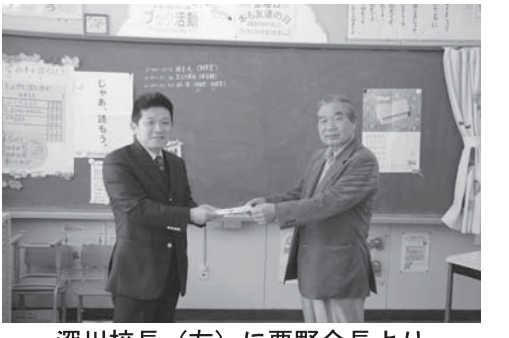
参加者は永野鉄道記念館を出発し、永野金山近代産業遺産等を巡り、ゴールの永野交流館までそれぞれのペースで歩きました。コース途中の金山公民館では「がねの天ぷら」がふるまわれたり、永野語り部隊のメンバー(永野小・薩摩中の児童生徒)が金山遺跡の説明を行い参加者は熱心に聞き入っていました。ゴール後は、ふるまわれた豚汁・おにぎりで疲れを癒しました。



白熱した試合が繰り広げられる

剣道vs銃剣道の試合も

2月28日、薩摩B&G武道館において、第5回さつま町剣道大会が開催され、約100人の剣士が日頃の成果を競いました。またこの日は、剣道と銃剣道との異種試合も行われ、大会を盛り上げました。各部門ごとの優勝者は左記のとおりです。(敬称略)
■小学生団体高学年の部 平川剣道スポーツ少年団
■小学生団体低学年の部 平川剣道スポーツ少年団
■小学生低学年個人戦の部 大田一徹(薩摩剣士館)
■小学生高学年個人戦の部 堀切雄貴(厳翼館)
■中学生男子個人戦の部 今村優(宮之城中学校)
■中・高校生女子個人戦の部 森園葵(薩摩中央高校)
■高校男子個人戦の部 井上翔太(薩摩中央高校)
■職場・職域対抗の部 宮之城OB会A
■支部対抗の部 平川・紫尾支部A



深川校長(左)に栗野会長より

終野小に図書費を寄贈 宮之城ロータリークラブ

2月3日、終野小学校において、宮之城ロータリークラブ(栗野福盛会長)から図書費の寄贈が行われました。終野小学校の深川晴久校長は「本校では週1回保護者による本の読み聞かせを実施しており、今回の寄贈は非常にありがたいことです。ロータリー文庫として大事に使わせていただきます。」と話されました。また、贈呈式の後には、ロータリークラブ会員と終野小学校児童との合同の豆まきや給食会なども行われました。

ステディ！プルッ！ 第5回町綱引き選手権大会

2月14日、宮之城総合体育館で第5回さつま町綱引き選手権大会が行われました。今年、4部門に計18チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

一般男子の部においては、「平川ぼっけもん」が昨年の優勝チーム「薩摩進友会（前チームきらら）」を破り、初優勝を飾りました。



一般男子の部決勝戦で対戦中の「平川ぼっけもん」チーム

- 一般男女混成の部 泊清流クラブ
- 一般男子の部 平川ぼっけもん
- 小学生280kg以下の部 佐志小ガラルッパーズ
- 小学生フリーの部 佐志小ドリームエイト
- ▲ 小学生フリーの部 決勝戦で対戦中の「佐志小ドリームエイト」チーム

「今日一日の努力」を大切に！ さつま町5周年記念事業 第5回さつま町民大会

2月21日、第5回さつま町民大会が宮之城文化センターで開催されました。上宮保育園児による「上宮わんぱく太鼓」が元気にオープニングを飾ってくれました。J.L.C「ほたる」による町民憲章朗読のあと、社会福祉功労者表彰をはじめ、各種表彰式、体験発表、生涯学習の成果発表などが行われました。

今回の体験発表では、昨年行われた「小さな親切」作文コンクールで本部賞を受賞された求名小学校6年生小森紀綱さんの作文や、1月に行われた「水口ケツト世界大会」に出場された薩摩中央高校1年生是枝充さんと福島孝平さんの体験発表、伊地知トミさんと神



相撲への熱い思いを語る、鍛山親方

園美子さんによるボランティアグループ「つきみ会」の体験発表、少林寺拳法の演舞などが披露されました。今回の町民大会は5周年記念事業の一環として、鍛山親方（元関脇寺尾）による「私の相撲人生」と題した記念講演がありました。これまでの相撲人生の中から現役生活時代の小さな悔しさの積み重ねをバネにした「今日一日の努力」の大切さや、親方としての弟子に対する教育のあり方など話され、観客は熱心に聞き入っていました。

その他にも、福祉団体によるフリーマーケットや高齢者学級、生涯学習受講生による作品展示もありました。

80歳の記念に... 自作の雑巾を寄贈

3月8日、天神公民会の若菜京子さんが、80歳記念として役場に自作の雑巾180枚を寄贈されました。若菜さんは以前、縫製関係の仕事をしていて、3月13日に迎える80歳到達の誕生日と、ご主人の命日に何かできることはないかと思索され、今回の寄贈となりました。

雑巾を受け取った日高町長は「行政の管理している施設が多いので、掃除の時に役立ち助かります。心を込めて作られた雑巾を大事に使わせていただきます。」と感謝の言葉を述べました。



雑巾を日高町長に手渡す若菜さん（右）

話し合いを大切に 家族経営協定調印式



調印式後の記念写真

2月23日、北薩地域振興局さつま庁舎において農家の家族間で経営方針や役割分担、労働報酬などの取り決めを交わす「家族経営協定」の調印式が行われ、町内の8家族23人が新たに協定を結びました。

式では、協定書に家族ごとに調印後、協定締結農家を代表して、熊田岐利さんが今後の抱負を話されました。

また、調印式に合わせて、いちき串木野市「いちごハウス木場」の木場由美子さんを講師に招いて、経営改善・パートナーシップ推進講演会が開催されました。



指導を受けながら、駒打ちを行う参加者

次回はシイタケ狩りを！ クヌギ林でシイタケ学習

2月13日、鹿児島市にある地球感謝基金グループが、二渡区折小野の山林で、シイタケ駒打ち体験会を開催しました。

これは「地球環境のためには何か興そう」という活動の一環で、鹿児島市を中心に遠くは福岡県からも、親子連れや夫婦など約90人が参加しました。

午前中は、森林とキノコについての学習を行い、午後からは折小野清則さんのクヌギ林でシイタケ菌の駒打ち体験を行いました。

参加者は興味深く作業を行い、「次回はシイタケ狩りにも参加したい」という声も聞かれました。



見頃を迎えたイワツツジ山

山一面が薄紫色に！ 上埜さんイワツツジ山

鶴田区城内公民会の上埜富雄さん所有のイワツツジ（ハヤトミツバツツジ）が、今年も見事に開花しました。薄紫色に染まったイワツツジ園には、町内外から多くの見物者が訪れました。

今年、暖冬の影響で昨年よりも一週間ほど早く見頃を迎え、園内には手作りの案内板や休憩所等が整備され、上埜さんの心のこもったもてなしで、訪れた見物客は、一足早い春を楽しんでいました。

上埜さんは、種から育てて植栽し、約1haの敷地に5,000本が植えられ、30年以上熱心に手入れされた園は、毎年見事な花を咲かせます。

防災トピックス

防災資機材を整備

町では、防災対策の一環として、国の生活・経済危機対策臨時交付金を活用し、給水タンク1.5m³用3基、MCA無線機20台、防災用倉庫1棟、内水排水用ポンプ12台、自主防災組織用ヘルメット710個、町指定避難所の表示看板を整備しました。

これらの防災資機材等を災害時の活動はもちろん、平常時の防災訓練活動や避難所の周知等に役立てていきます。



内水排水用ポンプ



給水タンク (1.5m³)



MCA無線機



避難所看板

米戸別所得保障モデル事業（水稲部分）

意欲ある農家が水田農業を継続できる環境を整えることを目的に、恒常的に生産に要する費用が販売価格を上回る米に対して、所得補償を国からの直接支払いにより実施されます。

(1) 交付対象者

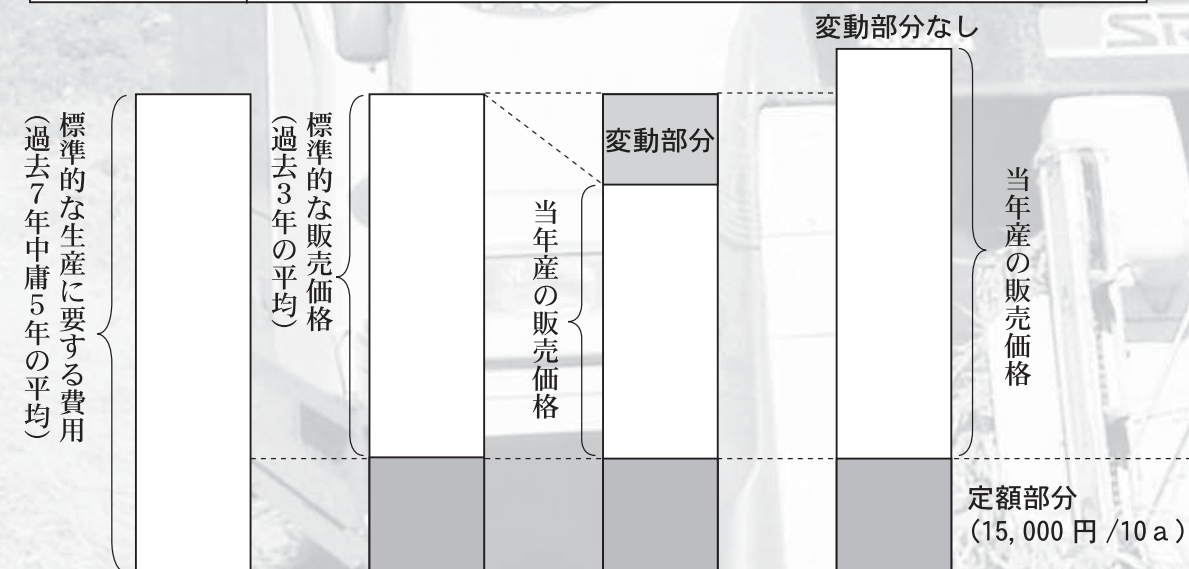
米の「生産数量目標」に即した生産を行った販売農家・集落営農で、水稲共済加入者または 25 a 未満の水稲作付者のうち水稲共済未加入者の場合は前年度の出荷・販売実績のあるもの。

(2) 交付対象面積

主食用米の作付面積から一律 10 a を差し引いた面積

(3) 交付単価

定額部分	10 a 当たり 15,000 円
変動部分	当年産の販売価格が標準的な販売価格（過去3年平均）を下回った場合、その差額を基に変動部分の交付単価を算定



さつま町水田農業推進協議会より「平成22年度水田農業実施計画書兼戸別所得補償制度モデル対策の交付金にかかる作付面積確認依頼書」、「戸別所得補償制度に関するモデル対策加入申請書」、「調整水田等の不作付地の改善計画（不作付地がある方のみ）」の3つの書類を配布してありますので、期日（4月14日）までに提出してください。

お問い合わせ先：さつま町水田農業推進協議会（JA北さつま内） 電話 53-1121（内線 314）
 さつま町役場農政課農政係 電話 53-1111（内線 2422・2423）
 鶴田支所経済係 "（内線 4121）
 薩摩支所経済係 "（内線 6122）

■平成21年度と平成22年度との変更点

	平成21年度	平成22年度
転作部分	生産調整を達成した生産者に対して、転作作物や団地化、担い手等に対して、地域水田協議会が定めた交付単価により交付 要件：①生産調整の達成 ②集荷円滑化対策への加入	生産調整の達成に関係なく、国が定めた作物に対して全国統一単価により交付 要件：実需者との出荷契約等
水稲部分	交付金なし	水稲作付面積に対して全国統一単価により交付金を交付 要件：①生産調整の達成 ②水稲共済への加入または前年度の出荷・販売実績のある者

<平成22年度戸別所得補償モデル対策の概要>

水田利活用自給力向上事業（転作部分）

自給率の向上を図るため、水田を有効活用して、麦・大豆・米粉用米・飼料用米等の戦略作物の生産を行う販売農家に対して、主食用米並みの所得を確保し得る水準を国からの直接支払いにより実施されます。

(1) 交付対象者

これまで需給調整（生産調整）に参加してこなかった農家が参加しやすくなるよう、米の「生産数量目標」の達成にかかわらず助成対象

(2) 交付単価

作物		単価（10a 当たり）
戦略作物	① 麦	45,200 円
	② 大豆	42,100 円
	③ 飼料作物	34,500 円
	④ 新規需要米（米粉用・飼料用・バイオ燃料用・WCS用）	80,000 円
	⑤ そば、なたね 加工用米	25,000 円
⑥ その他作物	重点作物（ごぼう・さといも・かぼちゃ）	※39,000 円
	振興作物（いちご・トマト・キンカン・梅）	※19,000 円
	野菜・果樹・花き・その他振興作物	11,000 円
	地力増進作物・景観形成作物	8,000 円
⑦ 二毛作助成（主食用米と戦略作物または戦略作物同士の組み合わせ）	15,000 円	

※印については、平成21年度に重点作物、振興作物の助成単価で、産地確立交付金（転作助成金）の交付を受けた方が対象となります。（激変緩和調整枠による）

平成22年度から米政策が変わります！

平成22年度から「水田利活用自給率向上事業」と「米戸別所得保障モデル事業」が実施されます。

語りもんそー!

ふるさと元気座談会 ③

今回は、4地区の座談会の意見交換の一部を紹介します。

宮之城屋敷地区

2月19日(金)

Q 町づくりの環として百縁祭が盛り上がりつつある。更なる支援策はできないか。また、商店街活性化策を伺いたい。

A 百縁祭の取り組みは、虎居・宮之城屋敷の各町会で構成している「まちなか再生委員会」が取り組みをしており、町としてもその活動を商工会と連携しながら支援してまいります。商店街活性化策として、プレミアム付き商品券の発行事業など、地域経済浮揚消費の喚起を促す施策を引き続き行なっていきたい。一方で、個店においても、顧客を呼び込むための工夫や努力をより一層お願いします。

佐志地区

2月23日(火)

Q 線路跡地の道路改良工事完成後に於ける現道に関する。駅舎跡地との関係や信号機の設置計画はどうなっているか、伺いたい。

A 佐志駅穴川線道路改良工事については、基本的に2m20cmの歩道、幅員6m75cmの道路建設を考えています。平成22年度完成を目指して、このため、現在利用されている現道は幅員3mとなり、地元耕作者がふだん利用する農道的な役割にする計画です。これにより、一般車との事故を避けるため段差をつけるなど工夫をしております。信号機については、さつま警察署によると完成後現在の信号機を移設する計画のようですが、地元の要望もつないでまいります。

永野地区

2月26日(金)

Q 永野地区においては、一旦災害が発生した場合にほとんどの地域が危険箇所を通って避難場所に来ることになる。現実的な対応策を伺いたい。

A 同地区は山間部に位置するため、一旦災害が発生すれば避難所に避難するまでの間における二次災害が懸念される箇所が、多数存在します。町としても、避難指示、職員の派遣、消防団の出動などあらゆる体制をとります。また、防災の基本である自助・共助・公助の連携づくりに努めてまいります。

終野地区

3月2日(火)

Q 同地域の高齢化も避けて通れない状況である。婦人部が中心となつて高齢世帯の声かけ活動に取り組んでいるが、限界もある。財政支援も含め指導いただきたい。

A 町では、在宅福祉アドバイザーを委嘱し声かけや話し相手、見守り活動に取り組んでもらっています。また、災害時要援護者制度への登録を進め、地域の関係者が連携して見守る体制づくりを推進しています。終野地区でも、在宅福祉アドバイザーを組織の中に位置づけていただきたい。

●その他意見
ひがの花祭り地域活動事業

電源立地地域対策交付金を活用して行った事業

皆さんが毎月支払う電気料金から、電力会社は販売電気1,000KWhあたり375円を電源開発促進税として国に納めています。その納められた税金から発電用施設周辺地域の地域振興対策のために関係市町村へ交付金として交付されています。

本町にも、水力発電施設関係交付金と電力移出交付金(県内の発電電力が消費電力を超えて他県へ移出されている部分の電力量に対する交付金)が交付されており、平成21年度はこの交付金を活用して次の事業を実施しました。

- 町道改良舗装工事 (時吉湯田線、小池線、藤川境田線、蘭ヶ追線)
- 町道測量設計業務 (時吉湯田線)
- ブロードバンド・ゼロ地域解消事業(紫尾交換局)
- 中学校吹奏楽器整備事業(3校)
- 紫陽館・観音滝温泉可燃性ガス分離装置整備事業
- 観音滝公園駐車場整備事業
- 公共施設維持補修のための基金造成事業



整備された町道蘭ヶ追線

川内川激特・鶴田ダム再開発速

【北薩地域振興局関連工事】
(平成22年3月10日現在)

- ⑧柏原地区
 - ・夜星川橋工事(3件)
 - ・築堤工事(1件)
- ③虎居地区、宮之城屋敷地区
 - ・宮都大橋工事(3件)
- ⑨久富木地区
 - ・樋門工事(3件)
 - ・護岸工事(2件)
 - ・東橋工事(3件)



【国土交通省関連工事】
(平成22年3月10日現在)

- 《激特事業関連工事》
- ①湯田地区
 - ・築堤護岸工事(1件)・樋門工事(2件)
 - ②柏原、大願寺地区
 - ・築堤護岸工事(2件)
 - ③虎居地区
 - ・築堤護岸工事(3件)・樋門工事(1件)
 - ④宮之城屋敷地区
 - ・取付道路工事(1件)・樋門工事(1件)
 - ⑤推込地区
 - ・分水路掘削工事(3件)
 - ・河道内掘削工事(1件)
 - ⑥二渡、山崎地区
 - ・築堤護岸工事(1件)・樋門工事(1件)

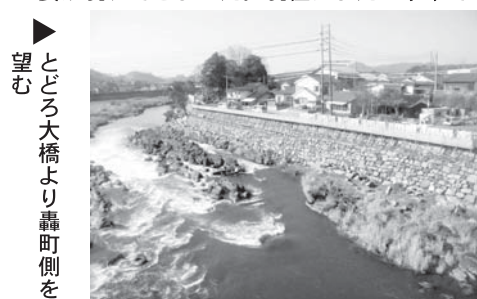
《鶴田ダム再開発事業関連工事》

- ⑦神子地区
 - ・工事用道路関連工事(10件)
 - ・法面処理工事(1件)
 - ・仮設備ヤード造成工事(1件)
 - ・災害復旧工事(1件)

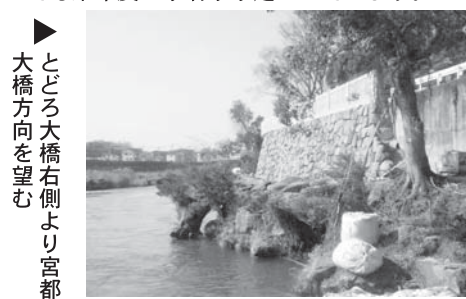
《今月の現場写真》

場所：轟町における石積み護岸

今年度より着手しました、虎居地区の護岸施工において、とどろ大橋～宮都大橋の一部箇所石積み護岸の姿が現れてきました。現在はまだ工事中であり、下流側においても来年度工事着手予定としています。



とどろ大橋より轟町側を望む



とどろ大橋右側より宮都大橋方向を望む

《今月の速報情報》

・『柏原第二樋門新設その他工事』 施工完了。
(柏原橋より下流の右岸側に樋門の新設及び築堤工事をしており、今回施工完了しました。)



■お問い合わせ先■

●国土交通省川内川河川事務所 TEL (0996) 22-3271
 激特事業に関すること 工務課 志賀 三智
 鶴田ダム再開発事業工事に関すること 工事課 猪野和歌人
 激特事業工事に関すること 宮之城出張所 宇都 薫
 TEL (0996) 53-1756

●鹿児島県北薩地域振興局 建設部
 河川港湾課 河川砂防第2係 係長 木佐貫浄治
 TEL (0996) 23-5151

平成22年自衛官等募集案内

●一般曹候補生

募集種目	一般曹候補生	
	第1回	第2回
資格	平成23年4月1日現在 18歳以上27歳未満の者	
受付期間	4月1日～5月10日	8月1日～9月10日
試験期日	1次：5月22日 2次：6月23日～28日	1次：9月18日 2次：10月7日～14日
試験場	1次：薩摩川内市 川内文化ホール 2次：霧島市 国分駐屯地	
合格発表	1次：6月11日 最終：7月30日	1次：10月1日 最終：11月10日
入隊	平成23年3月下旬～4月上旬	

●幹部候補生

募集種目	一般・技術幹部候補生
資格	平成23年4月1日現在 22歳以上26歳未満の者
受付期間	4月1日～5月10日
試験期日	1次：5月15日・16日 2次：6月15日～17日
試験場	鹿児島市内（受付時に別途通知）
合格発表	1次：6月4日 最終：7月7日
入隊	平成23年3月下旬～4月上旬



●予備自衛官補

募集種目	予備自衛官補
資格	平成22年7月1日現在 18歳以上34歳未満の者
受付期間	平成22年1月12日～4月9日
試験期日	4月17日～4月19日
試験場	霧島市国分駐屯地
合格発表	5月21日
入隊	採用候補者名簿に記載され、順位上位者から採用

【お問い合わせ先】
自衛隊鹿児島地方協力本部
薩摩川内出張所
電話：0996-22-2401

さつま町役場
安全安心対策室
電話：53-1111（内線2215）

消防本部では、このほど最新の消防車（災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車）を導入しました。これは、従来の水槽付消防ポンプ車が更新後16年を経過し、経年劣化が激しく消防活動に支障をきたしていたために更新したものです。主な装備は、積載水が従来の1,500リットルから2,000リットルに上げられ初期消火能力が向上しており、また少ない水で効果的な消火を行う「高圧噴霧消火装置」が新たに導入されました。

また、新たにクレーン装置付き資機材搬送車も導入されました。これにより、災害現場への重量資機材や救助ボートなどの搬送がより迅速に行えるほか、クレーンによる重量物の排除が可能となります。



今回導入された、水槽付ポンプ車(左)と資機材搬送車

消防トピックス
最新の消防車に更新
資機材搬送車も新規導入

新規認定農業者の紹介

1月20日、役場町長室において、4人の方が認定農業者に認定され、農業経営改善計画認定書の交付が行なわれました。

認定農業者制度とは、意欲のある農業者が自らの経営を計画的に改善する為に作成した「農業経営改善計画」を町が認定する制度です。
認定農業者に対しては、関係機関が各種支援策を集中的・重点的に実施します。



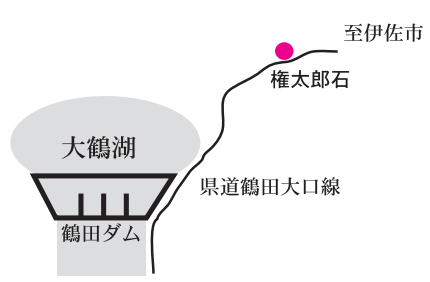
地区	柏原	虎居	船木	佐志
氏名	永野則雄さん(57)	福留 香さん(60)	(農)大迫農場 代表 大迫照明さん(36)	小西義彦さん(57)
経営作目	肥育牛	生産牛・水稲	肥育牛	水稲・麦 露地野菜など
抱負	地域の担い手として頑張ります。	優良牛の育成に努力します。	目標達成に向けて頑張ります。	麦栽培に力を入れて、佐志の田んぼに麦畑を作りたいです。

さつま産 権太郎石

ふるさと歴史探訪 権太郎石

権太郎石は、鶴田ダムから上流へ3.2キロの左岸にあります。この石は江戸時代の天保年間に実施された川内川の川さらえ工事の記念石で、大きさは幅1.6m、高さ1.0mのもので、この工事に従事した小野村（現在の鹿児島市小野町）の石工 福山権太郎の名が刻まれているので「権太郎石」と呼ばれています。この石は川の中にあったそうですが、鶴田ダムの工事に伴って、昭和39年に川から引き上げて、復元したものです。

伊佐市の曾木の滝公園には権太郎石の模造碑（レプリカ）が建てられています。



がんばれ 認定農業者!! シリーズ④7

さつま町鶴田

わかまつ としあき

若松利明さん 59歳



若松さんは平成20年3月に認定農業者として認定されました。

お父さんがされている畜産業を引き継いで、現在は、親牛10頭、子牛8頭を飼育されています。

牛を飼育するうえで、苦労されている点は、堆肥の処理だと話されます。

若松さんは今後、「認定農業者としての制度を活用しながら、新規の牛舎建設や、親牛の増頭を積極的に行っていきたい。また、開催されるセリ市ごとに子牛を出荷できる体制づくりに努めていきたい。」と畜産業に懸ける抱負を話されました。

町長の動静

(平成22年2月)

- 2月1日(月) トップセールス(大阪市・京都市)と川薩地区税務協議会通常総会・地域高規格道路関係県との協議
- 4日(木) 庁舎建設検討委員会・高齢者交通安全スリット制抽選会
- 5日(金) 観音滝ジョギング大会・時吉分団消防災害支援隊隊帽式
- 7日(日) 高齢者保護連絡会
- 8日(月) 県産業廃棄物薩摩支部協議、南国砕石協議
- 9日(火) 叙勲伝達式・土地開発公社審議会・宮都大橋さよなら会
- 10日(水) 林地開発協定調印式(仮)・監査・障害者療育について語る会・河川事務所協議
- 12日(金) 清掃奉仕活動
- 13日(土) さつま野ウオーキング大会・町綱引き選手権大会・宮之城屋地元気文化祭
- 14日(日) 県下一周駅伝競走大会川薩チーム結団式(薩摩川内市)
- 15日(月) 市町村共済組合全員協議会
- 16日(火) 梅の花咲くさつまソア・水道運営委員会・誘致企業との意見交換会
- 17日(水) 薩摩中央高校を育てる会・土地開発公社理事會・町茶生産協議会
- 18日(木) 日置市異業種交流会とさつま町ものづくり企業懇話会との意見交換会(日置市)
- 19日(金) 臨時議会・地域行政懇話会・国保運営委員会・町政座談会(宮之城屋地区公民館)
- 20日(土) 時吉、平川区交流研修会
- 21日(日) 第5回町民大会
- 22日(月) 県下一周駅伝激励
- 23日(火) さつま町の療育について語る会・家族経営協定調印式
- 24日(水) 町政座談会(佐志区公民館)
- 25日(木) 市町村職員厚生会・理事會・組合会(鹿児島市)
- 26日(金) 市町村長研修(定期総会ほか(鹿児島市)・誘致企業との意見交換会)
- 28日(日) 春の火災予防訓練式

町長交際費執行状況(2月分)

2月7日	3,400円	時吉分団消防災害支援隊隊帽式時
2月10日	4,770円	宮都大橋解体に伴う意見交換会時
2月17日	3,060円	企業との雇用対策等懇話会時(地元産品)
2月18日	4,000円	日置市異業種懇話会とさつま町ものづくり企業懇話会との交流会時
2月20日	3,400円	時吉・平川区公民館交流会時
2月21日	14,475円	町民大会講師へのお礼(地元産品)
2月24日	4,494円	県下一周駅伝競走大会川薩チーム結団式時
2月25日	54,600円	企業との雇用対策等懇話会時
2月26日	1,890円	療育施設先進地研修視察時お礼(地元産品)

平成22年「春の全国交通安全運動」

【実施期間】
4月6日(火)～15日(木)までの10日間
～4月10日(土)は「交通事故死ゼロ」を目指す日～

【スローガン】
もう一度
よく見て渡ろう
手を上げて

【運動の最重点】
子どもと高齢者の交通事故防止
～「つけてますか?運動」の展開～

- 【運動の重点】**
- ①全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
～全席ベルト着用!!「します・させます」運動の展開～
 - ②自転車の安全利用の推進
～自転車安全利用五則の周知徹底～
 - ③飲酒運転の根絶
～飲酒運転「8(やっ)せん運動」の展開～
 - ④交差点における交通事故防止

■くらしの情報

●問い合わせ: さつま町役場 TEL(53) 1111 FAX(52) 3514

健康増進課 健康増進係 内線2143

●健康診査日程【4・5月分】

乳幼児健診・健康相談

■1歳6ヶ月児(H20, 8生)

4月21日(水)

午後0時30分～午後1時受付

(宮之城保健センター)

■3歳児(H19, 2生)

4月28日(水)

午後0時30分～午後1時受付

(宮之城保健センター)

■2歳6ヶ月児 歯科健康診査

(H19, 10生)

5月6日(木)

午後0時30分～午後1時受付

(宮之城保健センター)

■すくすく育児相談

5月7日(金)

午前9時30分～午前10時30分

(宮之城保健センター)

■4～5ヶ月児 産婦健康診査

(H21, 12生)

5月12日(水)

午後0時30分～午後1時受付

(宮之城保健センター)

■母子健康手帳交付

4月26日(月)、5月10日(月)

午前9時30分～午前11時

(宮之城保健センター)

※健康保険証、印鑑をご持参の上、ご夫婦でおいでください。

■フッ化物塗布

4月21日(水)、4月28日(水)

5月6日(木)

午後3時～午後4時受付

(宮之城保健センター)

■総合健康相談

5月11日(火)

午前9時30分～午前11時

(宮之城保健センター)

■帝釈天コース

4月11日(日) 午前8時

宮之城ひまわり館出発

■楽々ウォーク

みなさん、一緒に歩いて気持ち

いい汗を流してみませんか?

■帝釈天コース

4月11日(日) 午前8時

宮之城ひまわり館出発

■風流の道コース

4月24日(土) 午前8時

宮之城工芸センター出発

福祉課 福祉障害係 内線2134

●心配ごと相談所

■日時・場所=毎週木曜日

午前10時～正午

宮之城ひまわり館

■お問い合わせ先

町社会福祉協議会 ☎52-1123

●無料法律相談所

■日時: 5月20日(木)

午後1時30分～午後4時30分

■場所: 宮之城ひまわり館

■相談員: 弁護士

希望される方は、さつま町社会福祉協議会に予約が必要です。

1回につき7名以内を受け付け

ます。

■お問い合わせ先

町社会福祉協議会 ☎52-1123

●心身障害者扶養共済制度について

障害のある方を扶養している保護者が、自らの生存中に毎月一定の掛金を納めることにより、保護者に万一(死亡・重度障害)のことがあったとき、障害のある方に終身一定額の年金を支給する制度です。

掛金月額: 加入者の年齢により1

口あたり9,300円～23,300円

加入には要件がありますので、

詳細についてはお問合せください。

■申請・お問い合わせ

本庁 福祉課

福祉障害係 内線2135

鶴田支所

保健福祉係 内線4113

薩摩支所

保健福祉係 内線6122

総務課 秘書人事係 内線2212

●職員の異動について

3月1日付け職員の異動があり

ましたので、お知らせします。

■課長補佐職=福留盛三 鶴田総合支所総務管理課総務管理係参事補(鶴田総合支所総務管理課長補佐兼総務管理係長)

■係長職=満園誠 鶴田総合支所総務管理課総務管理係長兼地域振興係長(鶴田総合支所総務管理課地域振興係長)

●職員の異動について

3月1日付け退職者をお知らせ

します。

▽平田四郎 町民課町民係参事補

消防本部☎52-0119

●お済みですか?

～住宅用火災警報器の取り付け～

現在、すべてのご家庭に「住宅用火災警報器」の設置が消防法で義務付けられています。本町の警報器の設置率は50%余りで、未だに半数近くのご家庭に設置がなされていない状況です。住宅用火災警報器は、火災の発生を早く知ることによって逃げ遅れによる被害を最小限にする効果が期待できます。大切な家族みんなの命を守るためにも、一刻も早い設置をお願いします。

なお、本町の条例による設置義務の期限は、平成23年5月31日までとなっています。

設置が必要な主な部屋は次のとおりです。

○すべての寝室(子どもが寝る子ども部屋も対象です。)

○2階に寝室がある場合は階段にも必要です。

●2月の火災・救急情報

○火災 ○救急

◆発生件数1件 ◆出動件数 86件

◆内訳 運んだ人 81人

その他1件 ◆内訳

急病 56件51人

交通事故 5件5人

その他 25件25人



1歳で～す
毎月1番最初に
生まれた赤ちゃん

ひがし ひかり
東陽花莉ちゃん

平成21年4月3日生



父 嗣人さん
母 尚美さん

ウッドタウン 公民会

両親から一言
元気で 優しい
子に育ってね!

篤志寄付

・さつま町更正保護女性会
・高橋とも子

町社会福祉協議会へ
・紫尾区大衆浴場 上之原純夫
・シルバー園芸教室

※「誕生・おくやみ」は、届出人が同意された方だけ掲載しています。

坂田未空	濱田桃花	古田篤蒼	尾林琴音	湯田幸明	上野直人	堀野来生	下屋敷芽生	前田真那	山崎凛緒	高田心海	たかみち	あかちゃん
女	女	男	女	男	男	男	女	女	女	女	性別	敬称略
亮	桂太郎	直博	伸幸	明	和美	孝志	庄司	真一郎	直幸	篤士	公民会	敬称略
船木下	京塚原	下狩宿	上大迫	上大迫	二渡	西手西	観月台	あながわ	時喜新町	五日町	公民会	敬称略
宮川	上之原	田尻アキ子	日高ハツミ	加治屋フチノ	鮫島武則	南一二	坂元ミツエ	井手智明	宮脇高信	梶原美智子	公民会	敬称略
年子	幸吉	92	83	93	83	81	79	85	70	46	公民会	敬称略
83	93	92	83	93	83	81	79	85	70	46	公民会	敬称略
中央	種子田	北方町	梶野田	角郷	求名町	北原	布田	きらら	角郷	中央	公民会	敬称略
中央	種子田	北方町	梶野田	角郷	求名町	北原	布田	きらら	角郷	中央	公民会	敬称略

誕生おめでとう

おくやみ申し上げます

平成22年度「春の地域安全運動」
期間：平成22年4月6日(火)～20日(火)
重点項目
○県民の身近で発生する街頭犯罪の防止
○振り込め詐欺の被害防止
○暴力団排除活動の推進

こんにちは保健師です 健康さつま21～10年後も元気であるために、定期的に健診を受けましょう～

特定健診、各種がん検診が5月からはじまります。

平成20年度から40歳～74歳（年度途中で75歳になる人を含む）の方を対象にメタボリックシンドロームの原因である内臓脂肪型肥満に着目した、生活習慣病予防のための特定健診が始まりました。

平成22年度は、集団健診に加えて個別の医療機関（町内の登録医療機関のみ）での健診受診も可能となりました。（各種がん検診については、これまでどおり集団検診です。）

特定健診とは、糖尿病、高血圧、高脂血症の発症あるいは、重症化や合併症への進行を防止するための健診です。健診の結果によっては保健指導を行い、保健師が個々に健診受診者と面接し今までの生活習慣を振り返り、健康的な生活を送るために役立つ情報提供をします。

特定健診の内容は、腹囲測定や問診、血液検査など、生活習慣病の予防に関する項目が含まれています。メタボ予備軍またはメタボと診断された方はもちろん、そうでない方も、健診は毎年、継続して受けることが大切です。

健診を受けることによって、自分自身の現在のからだの状態を知り、健康のために自分のできることで、及び自分の健康は自分で守るという気づきの場になり、暮らしかたによって、からだの状態がどのように変わっていくかを知ることができます。

あなたとあなたの大切な人のために、10年後も元気であるために、定期的に健診を受けましょう。



べんきょうしつ
モンシェリハウス
もりわき さとみ
森脇里美さん

モンシェリとはフランス語で「親愛なる」という意味で転じて「なかよし」という意味合いで「モンシェリハウス」と名付けられました。

ここに集まるのは、主に小・中学生で現在は述べ30人ほどが通っています。

本業の傍ら、脳の健康教室すこやか塾のボランティアや川内川流域連携ネットワーク会員などとして活躍されています。

また、週末は卒業生や保護者と、バドミントンで汗を流します。



「学び」は、
結果ではなく「過程」である

ひと仕事
さつまに生きる

柏原小学校近くの国道267号線沿いにある木造2階建ての部屋を覗くと、子どもたちが一生懸命机に向かい学習している姿があります。

森脇里美さんは、自由な発想で子どもの教育に携わりたいと、10年程前に私塾の形で「べんきょうしつモンシェリハウス」を開設されました。

開設当初は、英語指導を中心に考えていらつしやいましたが、ニーズに応じていくにつれ、現在の全教科自学自習の場になり、子どもたちが毎日通って来るかたちになりました。

そんな森脇さんは、「幼いうちから意欲的に学習することを体得させながら、勉強以外に川の生き物調査や炭焼き体験などの課外活動も充実させ、健全な子どもの育成に役立てていきたい。そして、成長した子どもたちが、親になつていく様をみていくのも楽しみです。」と今後の抱負を話されました。



このコーナーでは、さつま町で働く人々の姿を紹介いたします。自薦他薦は問いません。多くの人材をご紹介します。

ながえ ふみな
 永江史奈さん

中津川小学校6年



わたしの夢は、保育士になることです。

わたしの夢は、保育士になることです。小さい子どもたちと一緒に遊んでいる保育園の先生を見て「保育士っていいな」と思い、そのころから保育士になりたくなりました。でも小さい子どもたちに好かれるような先生になれるかとても心配です。だから毎日毎日小さい子どものめんどうをみてあげて「先生はいい先生」と思ってもらえるようにがんばりたいです。そして、子どもたちの笑顔が好きなので、だれでも笑顔にできる先生になりたいと思います。

休日在宅医

【4月】

4日	益寄医院	☎ 57-0010
11日	薩摩郡医師会病院	☎ 53-0326
18日	さつまクリニック	☎ 57-0020
25日	立志病院	☎ 55-9119
29日	てらだ内科クリニック	☎ 21-3232

【5月】

2日	宮之城病院	☎ 53-0180
3日	林田内科	☎ 53-1177
4日	ケアリハビリテーション病院	☎ 53-1704
5日	小緑内科	☎ 52-1676
9日	薩摩郡医師会病院	☎ 53-0326

休日薬局

【4月】

4日	ぎんざ薬局求名店	☎ 31-6500
11日	青空薬局	☎ 52-0101
18日	つるだ薬局	☎ 55-9388
25日	フタヤ薬局	☎ 59-2033
29日	さし薬局	☎ 21-3610

【5月】

2日	くきどめ薬局	☎ 53-0823
3日	ウチ薬局	☎ 53-0063
4日	ウチ薬局	☎ 53-0063
5日	とどろ薬局	☎ 52-2525
9日	青空薬局	☎ 52-0101

※休日在宅医や薬局は都合により、変更になる場合があります。受診の際は、医療機関に電話で確認してください。町のホームページでも紹介しています。

わたしたちの町

推計人口による

人口	24,171人 (-31人)
男	11,163人 (-14人)
女	13,008人 (-17人)

世帯数	10,250世帯
転入	41人
転出	60人
出生	14人
死亡	26人

(平成22年3月1日現在)

()は前月対比